

「集合(東京)+オンライン」開催

ストラテジックSCMコース

Strategic SCM Course

後援: 経済産業省・国土交通省(以上2省 申請予定)

戦略的視点で学ぶ「最先端のSCM」

講演会・受講説明会 2025年1月28日(火)18:00~20:00 (参加無料)
2025年度春期 2025年4月~2025年9月(全20回)
2025年度秋期 2025年10月~2026年3月(全20回)

●講演会・受講説明会はオンライン形式にて実施予定

ストラテジックSCMコースの特徴

- 国内外の第一線で活躍する実務家、コンサルタント、学識経験者による充実した講義
- 戦略的な視点から経営科学的なアプローチも含めた国際的な水準のカリキュラム
- 各期30名の少人数制による密度の高い情報交流とグループディスカッション
- 講師陣、受講者、コースOB・OGによる日本有数のSCM人材ネットワークの形成

ストラテジックSCMコースでは我が国のSCMを担うプロフェッショナルを育成します

カリキュラムの基本的目標: SCM人材の養成

企業が社会的価値と経済的価値の創出のために、経営理念に基づく具体的な製品やサービスを、需要家に対して提供するための戦略を立案し、実行プロセス全体を企画し、管理し、運営するマネジメントをSCMと考える。

我が国の経営の強みを引き出せる戦略的SCMを実現できる人材の養成

- ① 多様な専門家の講義と演習によるSCMを理解する**基礎知識と鳥瞰的な視座**の獲得
- ② 受講者同士の交流とグループ演習による**多様性の理解と人的ネットワーク構築**

①

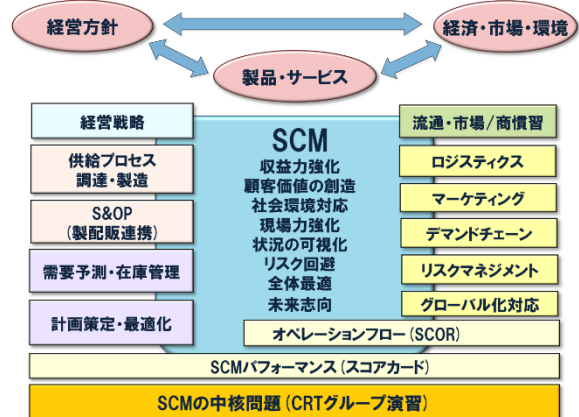
- SCMの概念と経営戦略
- 流通市場とSCM
- サプライチェーンの実行プロセス
- SCMにおける数理技術/ORの活用
- グローバル化時代におけるSCMの課題

②

- 5グループ編成
- グループによる課題演習と発表
- SSFJ活動の活動への参加・講師・修了生との交流
- 外部学会活動や国際資格等の紹介

時代の要請に則した柔軟で進取的なカリキュラムと環境の提供

SCMの課題と当学校の授業科目体系



ストラテジックSCMコース

講演会・受講説明会のご案内《参加無料》

●日 時:2025年1月28日(火) 18:00~20:00

●開催方式:オンライン開催(Zoom 使用)

サプライチェーンマネジメント(SCM)業務の最前線でご活躍する方に、SCMに関する最新情報や本コースで学ぶ内容の実務での活用についてご講演いただきます。そして、コースコーディネーターが本コースの狙いや内容についてご説明いたします。

ストラテジックSCMコースでは国内外の第一線で活躍する実務家、コンサルタント、学識経験者を講師に迎え、国際的な水準を意識したカリキュラム、少人数制による講義とグループ演習によりSCMのプロフェッショナルを育成しております。本コースの受講をご検討の方やSCMに関する最新動向にご興味がある方は、ぜひご参加ください。

【講演会】「オペレーションズ・リサーチ技術を用いた科学的アプローチで挑む課題解決」

講演概要:

オペレーションズ・リサーチ(OR)とは複雑に絡まるオペレーションの効率的な実践を、科学の力で可能にする検証技術です。大きな決断や、毎日の判断、決める力をサポートするものです。

サプライチェーン業務に存在する課題に対応するOR技術を活用したソリューションは様々あります。配送計画や在庫削減などの個別課題を解決した事例は、これまでも多くありました。近年は、法改正の影響もあり、業務オペレーション自体を見直すような複雑な課題も増え、OR技術を活用した課題解決がより重要となっていると言えます。本講演では、今までに(株)構造計画研究所がOR技術を用いて課題解決をした実際の事例をご紹介します。本講演を通じてOR技術の有効性を感じていただけますと幸いです。

講演者:

矢野 夏子 氏 (株式会社構造計画研究所 オペレーションズ・リサーチ部 リソースマネジメント室 室長)

上智大学大学院理工学研究科物理学専攻修士課程修了。2002年に株式会社構造計画研究所入社。入社以来、オペレーションズ・リサーチ技術を用いた技術コンサルティング業務に従事。製造業向けの業務(工場内の設備設計や、スケジューリングシステムの構築)に携わることが多いが、小売業や運輸業など、業界問わずにオペレーションズ・リサーチ技術を用いた課題解決業務に携わっている。最近、主に製造業を対象とした物流効率化のプロジェクトに多く従事している。ストラテジックSCMコース第1期修了生。

【受講説明会】

ストラテジックSCMコースのコースコーディネーターが、本コースのねらい・概要と特色を中心に、本コースの内容と受講までの流れをご説明します。

説明者(コースコーディネーター):

市川 隆一 氏 (株式会社サプライチェーン経営研究所 代表取締役社長)

法政大学大学院社会科学部経営学専攻修士課程修了。大手物流会社、(株)日本ロジスティクス研究所代表取締役社長を経て現職。多摩大学大学院経営情報学科 客員教授(2008年~2011年)。専門分野は、SCM、ロジスティクス、ダイレクト・マーケティング、流通システム。所属学会は、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本物流学会、日本ダイレクト・マーケティング学会等。

森川 健 氏 (株式会社野村総合研究所 アーバンイノベーションコンサルティング部 プリンシパル)

東京理科大学理工学部土木工学科卒業、東京理科大学理工学研究科土木工学専攻修了、1990年(株)野村総合研究所に入社して以来、サプライチェーンやロジスティクスに関わるコンサルティング業務に携わっている。初期は国内外の港湾や空港、流通団地等の物流インフラの計画に携わることが多かったが、1990年代後半からはサプライチェーンやロジスティクスに関わる民間企業に関するコンサルティング業務に数多く関わっている。特に物流×ITや、物流×環境に焦点をおいた専門性を有している。近年はRFIDなどの可視化や物流効率化等の各種実証実験のプロジェクトに多く従事している。

講演会・受講説明会(オンライン開催)へのご参加にあたり

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JLS オンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと」(URL <https://bit.ly/346E1Ag>)と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容についてご理解、ご承諾のうえお申込みください。

- 以下の条件を満たしたPC等をご準備ください。
 - ・Zoomクライアントをインストールしていること。
- 本セミナーの受講者は申込時に登録した受講者に限定し、1人1台のデバイスでご参加ください。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本セミナーを期間限定で配信します。
- 受講者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本セミナーの録画、録音、撮影は禁止します。
- 受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。

2025年度 春期（第31期） ストラテジックSCMコース開講のご案内

会期:2025年4月4日～2025年9月5日(全20回)

SCMについての世界のランキングに、米国の調査会社 Gartner が毎年公表する Supply Chain Top 25 があります。これは 2010 年にはじまったものですが、直近の 2024 年までの間、日本企業の名前は 2014 年トヨタの 24 位の1回限りで、20 世紀の“ものづくり”で世界をリードした日本企業の名前はあがってきません。なぜでしょうか。

今でも日本企業は現場の見える化や改善力は強いと思われませんが、海外ライバル企業はそれを十分学んだ上で、“モノ”から“コト”のビジネス戦略のもと DX(デジタル・トランスフォーメーション)によるサプライチェーン全体の見える化とそれに基づく顧客価値創造により、一気に勝者になる傾向があります。このような状況で世界と戦う人材になるためには、現在の状況を踏まえた戦略的 SCM のリスクリング、学び直しが不可欠です。

本講座は、2010 年に東京工業大学を中心に集まった SCM の第一線で活躍されている企業の方々や教育研究者の議論から立ち上げられ、JLS への移管後も取り巻く環境の変化に対応して常に内容をブラッシュアップさせて参りました。今まで業種や専門の壁を越えた約 700 名の修了生を送り出し、その同窓生のネットワーク、SSFJ(Strategic Supply Chain Management Forum Japan)も世界に広がっています。この輪自体も本講座の価値を構成する揺るぎない財産です。

コロナもようやく終息に向かう一方で、sustainability 推進の高まり特にサプライチェーンレベルでの ESG(Environment, Society, Governance)のパフォーマンスが重要になっています。さらには米中摩擦やウクライナ侵攻に伴うサプライチェーン混乱や資源高騰から、JIT(ジャスト・イン・タイム)の見直しや経済安全保障の促進といった更なる SCM のパラダイムの変化が進行しています。そして国内では 2024 問題対応から、一定規模以上の荷主、倉庫・物流業者に、SCM 効率化を担う物流統括責任者と呼ばれる CLO(Chief Logistics Officer)的人材を育成・配置することが法律で義務付けられるようになりました。

今、これらに対応できる人材こそ、過去 30 年停滞してきた日本の労働生産性を高める担い手でその育成が喫緊に求められています。それは、「顧客価値は何かを見極めができ、それを創造する“コト”をデザインし実行するために、(顧客を含めた)パートナーと共創・リードする力」です。講師陣と一丸となってこのような SCM 力を、講義・演習・グループ討論・発表を通して、磨き身に着けようではありませんか。

【コース代表講師】東京科学大学名誉教授 圓川 隆夫

2025年度 春期(第31期) ストラテジックSCMコース カリキュラム

講義(20回):金曜日 19:00～21:00 課題研究発表会・修了行事: 10:30～17:30

開催形式…「集合」:日本ロジスティクスシステム協会会議室(東京)での実施 「オンライン」:Zoomによる実施

日程・形式	内容	日程・形式	内容
4/4 集合	オリエンテーション/SCMの全体像と授業科目	<サプライチェーンの実行プロセス>	
<SCMの概念と経営戦略>		6/27 集合	SCM性能の見える化 ～CRTを用いたグループワーク演習 その2～
4/11 オンライン	SCMと経営そしてサステナビリティ	7/4 オンライン	調達を中心としたサプライチェーン経営戦略と組織能力
4/18 オンライン	SCMとオペレーションズマネジメント	7/11 集合	サプライチェーンプロセスモデル(SCOR) ～業務の可視化・分析・改革のイネブラー～
4/25 集合	サプライチェーンの複雑性と企業間協働の効果: SCMゲームの体験を通して	7/18 集合	S&OPの基本と実践～「組織の壁」を乗り越える～
5/9 集合	グローバル戦略とビジネス・ロジスティクスの 新たな方向性について	<SCMにおける数理技術/ORの活用>	
5/16 集合	SCM実現を阻む根底問題を探る ～CRTを用いたグループワーク演習 その1～	7/25 集合	SCMにおける需要予測・MRP・在庫最適化
<流通市場とSCM>		8/1 集合	SCMのDX化と改善事例
5/23 集合	消費財流通のチャネル戦略とSCM	8/22 開催方式調整中	SCMにおけるAI・ORの活用 ～科学的手法を経営に生かす～
5/30 オンライン	ロジスティクスマネジメントとSCM部門の役割	8/29 開催方式調整中	AI・ORを使った最適化モデルと企業戦略への活用
6/6 オンライン	マーケティングとSCM	<総括>	
6/13 集合	サプライチェーン可視化とトレーサビリティ	9/5 集合	総論:経営戦略とSCM、SCM改革のための チェンジマネジメント
6/20 集合	価値共創社会への変化対応とサプライチェーンの革新 ～SCM/DCMの連携～	<課題研究発表会・修了行事>	
※諸事情により、開催日程・形式やカリキュラム内容が変更となる場合があります。		9/13(土) 集合	課題研究発表会・修了行事

■課題研究について

課題研究として、CRT(現状問題構造ツリー)によって我が国のSCMの問題構造を明らかにするとともに、中核問題についてグループ毎に検討します。その検討結果を課題研究発表会にてご発表いただきます。

講師名	所属・役職	担当講義
圓川 隆夫	東京科学大学 名誉教授	SCM と経営そしてサステナビリティ/ SCM とオペレーションズマネジメント
市川 隆一	(株)サプライチェーン経営研究所 代表取締役社長	消費財流通のチャネル戦略と SCM
森川 健	(株)野村総合研究所 アーバンイノベーションコンサルティング部 プリンシパル	サプライチェーン可視化とトレーサビリティ
河合 亜矢子	学習院大学 経済学部 経営学科 教授	サプライチェーンの複雑性と企業間協働の効果
橋本 雅隆	明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 専任教授	グローバル戦略とビジネス・ロジスティクスの新たな方向性について
鈴木 定省	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授	SCM 実現を阻む根底問題を探る/SCM 性能の見える化
荒木 協和	神戸大学大学院 国際海事研究センター リサーチフェロー	ロジスティクスマネジメントと SCM 部門の役割
中村 潤	中央大学 国際経営学部 教授、合同会社 Space4Labo アドバイザー	マーケティングと SCM
碓井 誠	オピニオン 代表	価値共創社会への変化対応とサプライチェーンの革新
垣見 祐二	スリーゼットコンサルティング 代表、和歌山大学経済学研究科 客員教授	サプライチェーン経営戦略と組織能力
※調整中	※調整中	サプライチェーンプロセスモデル(SCOR)
行本 顕	Operations Management Group LLC. 代表社員、ASCM 認定インストラクター	S&OP の基本と実践〜「組織の壁」を乗り越える〜
野本 真輔	(株)構造計画研究所 製造 DX 技術担当	SCM における需要予測・MRP・在庫最適化/ SCM の DX 化と改善事例
伊倉 義郎	(株)サイテック・ジャパン 代表取締役社長、東京科学大学 講師	SCM における AI・OR の活用/ AI・OR を使った最適化モデルと企業戦略への活用
藤野 直明	(株)野村総合研究所 未来創発センター シニアチーフストラテジスト	経営戦略と SCM、SCM 改革のためのチェンジマネジメント

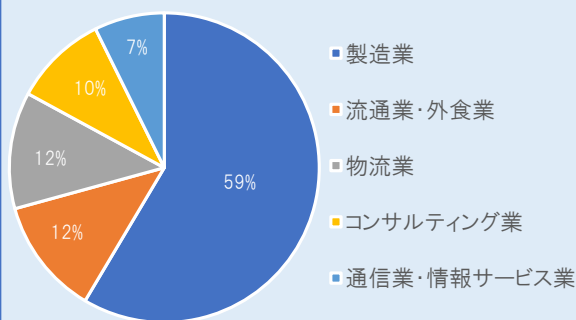
【このような方に受講をお勧めします】

戦略的 SCM の構築や改革は、経営的な視点(総合的、鳥瞰的な視点)をもって、全社的な立場から推進されなければなりません。そのためには経営トップの SCM への積極的な理解と、優れたプロジェクトリーダーの存在が不可欠です。また、情報システムのリーダーが SCM への造詣を深め、システム構築がされることも重要な要素です。

このような観点から、本コースは経営幹部の方々や、経営企画部門のスタッフの方々と共に、全社的な情報システムの企画・構築に当たられる方々にも受講していただきたいと考えています。

また、すでに企業等において、サプライチェーン、物流管理に関する業務の経験を持ち、解決すべき課題や問題意識を持っている経営者や中堅幹部社員の方々、システム部門の方々に参加いただいて、専門的な知識の習得と実務に即した能力を身につけていただきたいと考えています。

【受講者の業種比率(2024 年度)】



【受講者の声】

- 「SCM を志すさまざまな職種の方と、多様な問題意識をぶつけ合い理解を深めることができた」
- 「全体のプロセスを見て問題を認識することが、解決策を生み出し企業の成功へ導くスタート地点だということを、実務経験豊富な講師の授業とグループ課題演習での議論を通して学びました」
- 「SCM の推進に関心を持つ講師やクラスのメンバーと交流でき、コース終了後も繋がるきっかけを作れたことは最大の収穫です」

講演会・受講説明会参加申し込み(無料)

■ 講演会・受講説明会参加申込 ■

<https://www1.logistics.or.jp/education/BA61.html>



日時・定員・開催形式

日 時: 2025 年 1 月 28 日(火) 18:00~20:00

定 員: 100 名 参加費: 無料

開催形式: オンライン開催(Zoom 使用)

■□ 講演会プログラム □■

オペレーションズ・リサーチ技術を用いた科学的アプローチで挑む課題解決
矢野 夏子 氏
(株式会社構造計画研究所 リソースマネジメント室 室長)

ストラテジック SCM コース 受講申込

本コースにお申し込みいただくには、E-mail にて願書・志望理由書をご提出いただけます。願書・志望理由書は、原則として 1 月 28 日に開催する講演会・受講説明会後に受付を開始いたします。お申し込み方法の詳細はホームページの募集要項をご覧ください。

ストラテジック SCM

検索

定員・受講料・開催形式

定 員: 30 名

受 講 料: 220,000 円/1 名 (税込)(協会会員・会員外共通)

開催形式: 集合: JLS 会議室(東京)、オンライン: Zoom

※諸事情により、開催日程・形式やカリキュラム内容が変更となる場合があります。